

“MADE IN SHIBUYA”

今も昔も新しい“ファッション文化”を発信する街、渋谷。

渋谷ファッションウィーク アンバサダー 松岡 茉優さんが語る“MADE IN SHIBUYA”。

アンバサダー

松岡 茉優

松岡茉優さんにとって渋谷とは？

とてもビビットな街、という印象です。新宿や原宿、表参道、銀座など、東京には様々な魅力ある街がたくさんありますが、渋谷には他の街にはない独特のパワーを感じます。

学生の頃はSHIBUYA109やPARCO、マルイ・・・お買い物といえば渋谷でした。今は、東急百貨店や西武百貨店のデパ地下が大好きです。以前はオーディションで渋谷に来ることも多く、NHKへ通うのも、渋谷から歩いて行っていました。「あまちゃん」ではオーディションの時も、合格してから撮影に通うのも、渋谷から。祈る思いで歩いたことが何度もあります。学生時代や大人になってからも、渋谷は色々な思い出に溢れていますし、スカウトをされたことも数回あります。最近だと去年、西武渋谷店の前で(笑)

松岡茉優さんにとってファッションとは？

私たち俳優にとって欠かせないファッションは、映画やドラマを撮影しているときは衣装として、イベントの時は自分の分身という存在です。ときめきや魔法のように、纏うことで勇氣や元気を貰え、舞台挨拶など、お客様の前に出る時は衣装のおかげで堂々と立てている気がします。俳優をしているとその役を演じているとき、それが私のスタイルになりますが、自分のために少し贅沢なワンピースやドレスを購入する時は、とても胸がときめきます。

大ヒット公開中の映画『蜜蜂と遠雷』のみどころを教えてください

直木賞と本屋大賞を史上初のダブル受賞をされた恩田陸先生の原作小説の映像化、でしたが、原作の映像化、ということだけに留まらず、映画として面白いものを作らなくては、とスタッフ・キャスト一同「クラシック好き」の方にもご納得頂けるものを作ろうと努めてきました。出来上がった作品を見たら、私たちの想像を超えて「音楽好き」の方ならば確実に楽しんで頂ける作品に仕上がったように思います。コンサート会場にいるかのような音楽の躍動感と、胸が晴れるような眩しいストーリーを劇場で楽しんでいただけたら幸いです。

これからどんな役に挑戦していきたいですか？

どんな役でもチャレンジしていきたいのですが、強いて言うなら渋谷を舞台にしたものもやってみたいですね。若者、と言う役が出来る今の自分が表現できることを楽しみたいです。

最後に、SHIBUYA RUNWAYにご出演するにあたってメッセージをお願い致します。

この度はアンバサダーという大役を任せて頂き、ありがとうございます。日頃ファッションに支えられている身として、そして「渋谷」に親しんだ身として、皆さんにとっても、渋谷が大好きになれるような時間にしたいと思います。



蜜蜂と遠雷

大ヒット公開中！

出演者：松岡茉優 / 松坂桃李 / 森崎ウィン / 鈴鹿央士(新人)

原作：恩田陸「蜜蜂と遠雷」(幻冬舎文庫)

監督・脚本・編集：石川慶

「春と修羅」作曲：藤倉大

ピアノ演奏：河村尚子 / 福岡光太郎 / 金子三勇士 / 藤田真央

オーケストラ演奏：東京フィルハーモニー交響楽団(指揮：円光寺雅彦)

配給：東宝

©2019映画「蜜蜂と遠雷」製作委員会

PROFILE

松岡 茉優

1995年生まれ、東京都出身。女優として、多数の映画に出演。近年の主な出演作は映画『ちはやふる』3部作(16・18 / 小泉徳宏監督)、映画初主演を果たした『勝手にふるえてろ』(17 / 大九明子監督)、『blank13』(18 / 齊藤工監督)、第71回カンヌ国際映画祭パルムドールを受賞した『万引き家族』(18 / 是枝裕和監督)。第42回日本アカデミー賞では、優秀主演女優賞そして優秀助演女優賞を受賞した。10月4日に公開された『蜜蜂と遠雷』(石川慶監督)では天才ピアニスト役を演じている。